

Title	お詫と訂正
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1982
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.51, No.4 (1982. 3) ,p.114(538)- 114(538)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19820300-0114

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

そして、大きな戦渦を見ないまま、二百余年の間、平和裡に全国支配を成し遂げてきた江戸幕府は、いわば職場としての戦場を失った大勢の戦う職人としての武士層を抱えてきた。そこでの過大な利得をえる機会を失った武士層は、すでに単なる消費階級にすぎない者となり、腰の刀脇差はもはや形骸化した権威のシンボルでしかなかった。

そこでは健者としての民衆の経済力に比して、直接の生産手段を有しない武士の経済力は、幕末期に至って、益々その弱体を露呈することになった。打ち続く飢饉凶作の衝撃は、農民にとって直接的であるが、都市生活者へも大きな打撃となり、消費生活にのみ頼る武士層もまたかなり厳しい経済生活を強いられた。そして、すでに列島周辺を回遊する諸外国の船影は頻繁にみられ、その強迫観念は右の内憂とともに、新しい転換期の到来を暗示するものがあった。それは幕府のお膝元である江戸において、最も特徴的であったと思われる。

註

- (1) 吉原健一郎『江戸の町役人』
- (2) 『御府内備考』卷之四六
- (3) 近吾堂版『江戸切絵図』を参照。
- (4) 本稿は、現在進行中の共同研究「幕末期・江戸市中における商人の地域分布とその存在形態に関する実態調査——特に、業種と居住形態との関連において——」に関連して成稿したものである。

お詫と訂正

真下英信

前号 (vol. LI, No. 3, p. 154~161) に J. Griffin: *Homer on Life and Death*, Oxford 1980 の書評を掲載させたため、幾多の誤植が生じてしまった。

ここに改めて訂正することが許されたのを機会に、読者にお詫を申し上げるとともに寛恕をお願いしたい。

(1)	p. 155	下	1. 8	二たの	誤	二つの	正
(2)			1. 10	聴いた		聞いた	
(3)			1. 11	S.C.T.		SCT	
(4)	p. 156	下	1. 16	ドーロ		ドロ	
(5)	p. 157	上	1. 16	Reinhardt		Reinhardt	
(6)			同右	ホーロス		ホメーロス	
(7)			1. 19	アキレス		アキレウス	
(8)		下	1. 19	たが		だが	
(9)			1. 22	papadox		paradox	
(10)	p. 158	上	1. 7	fall		falls	
(11)			1. 20	neos		neôs	
(12)	p. 159	下	1. 7	譯		歌	
(13)	p. 160	上	1. 11	人世界		人間の世界	
(14)		下	1. 5	役割をし		役割を果し	
(15)			1. 12	かた		かつ	
(16)			1. 17	技功		技巧	
(17)	p. 161	上	1. 7	Göfingen		Göttingen	